

総会イベント「発伝所 2011→2012」 報告

緑色選択連盟の最近の動き

2012年6月30日(土) 15:30-16:00

相川泰

(発伝所 理事 / 鳥取環境大学准教授)

以下の報告の流れ

- 緑色選択連盟(中国)の概要
- 緑色選択連盟と日本の関係
 - 企業との関係
 - 発信所の取り組み(昨年度の活動報告も)

緑色選択連盟の概要

- 「緑色選択連盟(グリーン・チョイス・アライアンス、GCA)」
 - 中国の環境NGOのネットワーク(発伝所は国際パートナー)
 - 「草の根環境NGO」34～41団体(馬軍氏や李力氏の団体など3～5団体が実質的な中心)の緩やかな集合体
 - 目標: 全企業のサプライチェーン(部品や製品の供給網)から、中国の汚染企業(環境基準以上の汚染を出している企業)をなくす(→中国から環境汚染をなくす)
- ↑手段: 汚染企業の製品を買い支える消費者・企業への働きかけ
- ↑そのための情報を収集・集約・公開

GCAの過去2年度の重点： IT企業への働きかけ

- 世界的代表企業29社に質問状(アンケート)送付
→回答を6~10項目にわたり評価、ランキング
- 独自の実態調査
→報告書
内容を記者会見で発表
- 2010年4月に1冊目・1回目(以下同)、6月に2冊目、
8月に3冊目
- 2011年1月に4冊目、8月に5冊目
- …5冊目のみ、対象企業2社増、31社

報告書の概要

基本姿勢は消費者への情報提供

- 1～4冊目は、自然の友、IPE、達爾問の連名（1～3冊目には34、4冊目には36団体のGCA参加NGO一覧付）、5冊目は十環友科技、南京緑石（NGO一覧なし）

- 記者会見はGCAとして開催、2回目から環友科技代表が司会

- 1冊目：金属汚染の現状、IT部品メーカーの汚染状況、各社の回答状況の中間報告
- 2冊目：各社の回答状況を「深く協力」～「拒絶」の5段階に分類
- 3冊目：29社別に積極性を評価、問題事例も紹介（筆頭にアップル社のサプライヤー）

GCAのIT業界報告書でのランキング表

アップルの順位変化

(2010年4,6,8月 11年1,8月)

客户企业名称	回复收到与否	客户企业名称	回复收到与否					
松下	✓	三星	✓	惠普	✓	✓	英国电信	✓
海尔	✓	惠普	✓	三星	✓	✓	惠普	✓
三洋	✓	松下	✓	阿尔卡特朗讯	✓	✓	三星	✓
联想	✓	西门子	✓	英国电信	✓	✓	三洋	✓
SONY ³¹	✓	东芝	✓	三洋	✓	✓	索尼	✓
日立	✓	三洋	✓	夏普	✓	✓	西门子	✓
新加坡电信	✓	海尔	✓	东芝	✓	✓	阿尔卡特朗讯	✓
Intel	✓	联想	✓	松下	✓	✓	夏普	✓
飞利浦	✓	TCL	✓	西门子	✓	✓	联想	✓
诺基亚	X	英特尔	✓	日立	✓	✓	东芝	✓
爱立信	X	日立	✓	沃达丰	✓	X	沃达丰	✓
西门子	X	索尼	✓	佳能	✓	X	松下	✓
阿尔卡特朗讯	X	阿尔卡特朗讯	✓	飞利浦	✓	X	精工爱普生	✓
沃达丰	X	思科	✓	摩托罗拉	✓	✓	英特尔	✓
英国电信	X	精工爱普生	✓	海尔	✓	✓	比亚迪	✓
IBM	X	诺基亚	✓	联想	✓	✓	日立	✓
Cisco	X	英国电信	✓	TCL	✓	✓	佳能	✓
摩托罗拉	X	夏普	✓	富士康	✓	✓	飞利浦	✓
APPLE	X	新加坡电信	✓	英特尔	✓	✓	摩托罗拉	✓
HP	X	摩托罗拉	✓	比亚迪	✓	✓	佳能	✓
佳能	X	富士康	✓	思科	✓	X	TCL	✓
Epson	X	苹果	X	精工爱普生	✓	X	富士康	✓
东芝	X	飞利浦	X	IBM	✓	X	新加坡电信	✓
夏普	X	爱立信	X	诺基亚	✓	X	思科	✓
三星	X	沃达丰	X	索尼	✓	X	IBM	✓
LG	X	IBM	X	苹果	✓	X	诺基亚	✓
TCL	X	佳能	X	LG	✓	X	LG	✓
比亚迪	X	LG	X	新加坡电信	✓	✓	爱立信	✓
富士康	X	比亚迪	X	爱立信	✓	X	爱立信	✓

客户企业名称	排名	回复收到与否	了解背景情况		超标记录		加强供应链管理		信息披露		供应链处延伸	
			初步检查	深入调查	考虑建立检查机制	决定建立检查机制	作出整改并公开说明	定期公布排放数据	直接延伸到主要材料供应商	推动一级供应商检查二级供货商环境表现		
西门子	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X
沃达丰	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	✓
飞利浦	3											X
诺基亚	4											X
阿尔卡特朗讯	5											X
英国电信	6											✓
惠普	7									X	X	X
三星	8								X	✓	X	X
三洋	9								X	✓	X	X
索尼	10								✓	X	X	X
东芝	11											X
沃达丰	12											X
松下	13											X
夏普	14											X
联想	15											X
英特尔	16	✓	X	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X
精工爱普生	17	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X
摩托罗拉	18	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X
日立	19	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
佳能	20	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
摩托罗拉	21	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
联想	22	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
戴尔	23	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
海尔	24	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
TCL	25	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
富士康	26	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
新加坡电信	27	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
思科	28	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
IBM	29	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
诺基亚	30	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
LG	31	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
爱立信	31	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
爱立信	31	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
黑莓	31	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X
苹果	31	✓	X	✓	✓	✓	X	X	X	X	X	X

1冊目同点10-29位(最下位)

2冊目同点22-29位(最下位)

3冊目26位

4冊目29位(最下位)

5冊目31位(最下位)

³¹ Sony公司于2010年4月19日发表环境保障报告, 声明报告中10家制造企业不是其“直接供货商”。该环境保障报告此前曾指出索尼、苹果等公司没有进行回复。

アップル社の問題化

- アップル社の消極性と問題が目立つ

→報告書の副題

- 4冊目「アップルの別側面」
- 5冊目「アップルの別側面2:汚染が黒い幕の裏で蔓延」

・・・内容:サプライヤーの環境汚染

+アップル社の秘密主義や対応でのごまかし

サプライヤーが抱える安全、労働、人権の問題

・・・を明らかにし、批判

アップル社の対応

- 2011年秋までは一貫して非協力的
- 同社製品の愛用者からは反発も

→2011年秋、同社の態度に変化

・・・一環で2012年1月サプライヤー公表

その後も断続的に交渉継続

新たな展開

- 同社に限らずIT企業は程度の差はあれ改善が進む→今や喫緊は他業種と判断

→2012年4月にアパレル業界についての記者会見、報告書は5月内に発表

- ランキング表のバイヤー企業は雑多！ : 高級衣料ブランド～スポーツ用品ブランド～一般衣料ブランド～百貨店・大型スーパー

GCAと日本の関係

GCAのIT業界報告書でのランキング表

日本企業の順位変化

(2010年4,6,8月 11年1,8月)

客户企业名称	回复收到与 否	了解背 景情况	跟进供货商 超标记录	探讨利用公开信 息加强供应链管 理	推动供应商作 出整改并公示 环境信息	推动环境管理向供 应链深处延伸
松下	✓	✓	✓	✓	✓	✓
海尔	✓	✓	✓	✓	✓	✓
三洋	✓	✓	✓	✓	✓	✓
联想	✓	✓	✓	✓	✓	✓
SONY ²¹	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日立	✓	✓	✓	✓	✓	✓
新加坡电信	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Intel	✓	✓	✓	✓	✓	✓
飞利浦	✓	✓	✓	✓	✓	✓
诺基亚	X	✓	✓	✓	✓	✓
爱立信	X	✓	✓	✓	✓	✓
西门子	X	✓	✓	✓	✓	✓
阿尔卡特-朗讯	X	✓	✓	✓	✓	✓
沃达丰	X	✓	✓	✓	✓	✓
英国电信	X	✓	✓	✓	✓	✓
IBM	X	✓	✓	✓	✓	✓
Cisco	X	✓	✓	✓	✓	✓
摩托罗拉	X	✓	✓	✓	✓	✓
APPLE	X	✓	✓	✓	✓	✓
HP	X	✓	✓	✓	✓	✓
佳能	X	✓	✓	✓	✓	✓
Epson	X	✓	✓	✓	✓	✓
东芝	X	✓	✓	✓	✓	✓
夏普	X	✓	✓	✓	✓	✓
三星	X	✓	✓	✓	✓	✓
LG	X	✓	✓	✓	✓	✓
TCL	X	✓	✓	✓	✓	✓
比亚迪	X	✓	✓	✓	✓	✓
富士康	X	✓	✓	✓	✓	✓

客户企业名称	排名	回复收到与 否	了解背 景情况		跟进供货商 超标记录		探讨利用公开信 息加强供应链管 理		推动供应商作 出整改并公示 环境信息		推动环境管理向供 应链深处延伸	
			初 步 检 查	深 入 调 查	考 虑 建 立 检 索 机 制	决 定 建 立 检 索 机 制	作 出 整 改 并 公 开 明 确	定 期 公 布 排 放 数 据	直 接 延 伸 到 主 要 材 料 供 应 商	推 动 一 级 供 应 商 检 索 二 级 供 应 商 环 境 表 现		
西门子	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X
沃达丰	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	✓
飞利浦	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X
诺基亚	4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X
阿尔卡特-朗讯	5	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X
英国电信	6	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	X	X	✓
惠普	7	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
三星	8	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
三洋	9	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
索尼	10	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
东芝	11	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
松下	12	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
夏普	13	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
联想	14	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
英特尔	15	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
精工爱普生	16	✓	X	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
摩托罗拉	17	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
日立	18	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
佳能	19	✓	X	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
思科	20	✓	X	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
戴尔	21	✓	✓	✓	✓	✓	✓	X	✓	X	X	X
海尔	22	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
TCL	23	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
富士康	24	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
新加坡电信	25	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
比亚迪	26	✓	✓	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
IBM	27	✓	X	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
LG	28	✓	X	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
爱立信	29	✓	X	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
黑莓	30	✓	X	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X
苹果	31	✓	X	✓	X	✓	✓	X	✓	X	X	X

GCAの日本企業への評価

- 当初は上位近くにあった日本企業→報告書の冊数の増加とともに順位を下げる傾向
- 11年10月下旬時点では、
 - 国内の代表的企業レノボ(アップル・ファンの批判に対応?)
 - 携帯電話メーカーのLGとTCL
 - 日本企業・・・が、次の重点的な活動対象として検討
(結局、ほぼ回避・・・背景に発伝所との交流?)

汚染企業として批判された日本企業

- 5冊目の報告書:アップルのサプライヤーとなっている7社9工場を実名入りで取り上げる
 - 中にイビデン、名幸という日本企業2社の3工場も
 - ←→日本の関連業界では一時、2社を一種の被害者視
 - GCA:現在までに少なくともうち1社は対応約束

第5報告書の地図上で「汚染企業」と批判された日本企業



発伝所の取り組み

- 2008年の第4回東アジア環境市民会議以来
GCAへの協力を模索
- 2010年以降は正式に協力関係
- 2011年度より3年計画のプロジェクト

2011年度の活動

- 「あおぞら財団」(2009年にIPEからリクエストがあり2010年から別途交流)と実質的にコラボ
- 7月、パナソニック等の日本企業とコンタクト、訪問
- 10月、中国・北京のGCA中核団体訪問、現地視察
- 11月、中国・広州の環境NGO大会でプレゼン
- 12月、プレスリリース
- 12年3月、李力氏招き東京で「グリーン・サプライチェーン・フォーラム」開催、大阪でのあおぞら財団開催にも協力、パナソニック訪問

自然の友で受けた問題提起

- 福島第一原発の事故を受け、原子力発電を含む電力への「緑色選択」の適用が、中長期的な課題になるのではないか？

今年度の成果の一部を反映した拙稿

- 論文「中国の環境NGOによるグリーン・サプライチェーン運動」『環境と公害』第42巻第4号
- 学会報告「中国環境NGOネットワークによるサプライチェーンのグリーン化要求運動」(第45回 環境社会学会大会 自由報告)

課題

- アップル社・・・日本では他件で同情的世論、本件はそれほど目立たなくて良かった？
- アパレルの報告書は、日本的に「見せ方」の工夫が必要、日本から提案する余地と必要
- 中長期的には電力もGCの対象に？（←自然の友）→売買だけでなく、投資・融資も？
- ・・・中国側の動きを尊重？ 積極的に提案？

3月のグリーン・サプライチェーン・フォーラムで示した 「このプロジェクトでめざすもの」

- より高い目標：日本側が、経験等も含む知恵と、中国の実情に即し、
- 中国側からも先進的と評価される、提案と行動をできるようにする

対立ではなく対話の促進

- 以上を通じて、中国での環境汚染を抑制し、さらに環境と日中関係を積極的に改善する

展望

- 3月・李力氏：「発伝所などとの協力関係によって、日本とは最も改善を進めてもらいやすい関係が作れている」
- 今年度は、中国での第三者環境監査の視察や会議など、より理解・交流・協力を深める
- 前頁の「めざすもの」に向け進む